

徳島市立2年ぶり頂点

女子 池田は21度目



男子決勝リーグ・徳島市立対池田 前半、徳島市立の中川がシュートを放つ＝鳴門アミノバリューホール(吉本旭撮影)

ハンドボール

【鳴門アミノバリューホール】

【男子】決勝リーグ 徳島科技

32-19城南 徳島市立32-21池田

▽順位の徳島市立3勝の池田2

勝1敗3徳島科技1勝2敗の城南

3敗

【女子】リーグ 城北17-11徳

島市立、池田29-10鳴門

▽順位の池田4勝の城北3勝1

敗3鳴門2勝2敗の徳島市立勝

3敗6勝4敗

無敗で女王奪還

○池田が11年ぶりに

女王の座を奪還した。リ

リーグ戦は無敗で、重本主

将「写真」は「新チーム

になってから県大会で4
連覇できてうれしい」と
顔をほころばせた。



長身の
ポストを
生かし、
素早く仕
掛ける攻
撃がチームの持ち味。初

戦は辻を61-2で下し、

厳しい守備破り加点

徳島市立

続く2、3戦目もダブル
スコアで圧倒した。最終
戦は、鳴門を相手に速い
パス回しからチャンスをつ
くり、重本主将や三木

が次々と得点を重ねた。
反省点は鳴門の得点を
1桁に抑えられなかった
こと。重本主将は「もっ
とボールの動きにシッか

りついていけるようにし
なければ」。守備力をさ
らに磨き、まずは四国
総体で初戦突破を目指
す。

徳島市立が昨年敗れた池

田を32-21で下して雪辱し

た。「意識する相手ではあ

ったけど、余裕を持って戦

えた」と中川主将。しっか

り守って攻撃につなぐリス

ムを最後まで失わなかつ

た。

決勝リーグで互いに2勝

して迎えた最終戦。徳島市

立は先制点を許したが、中

川主将が9点をたたき出し

て、16-10で前半を折り返

した。後半でも相手の厳し

いディフェンスに屈するこ

となく逢坂、森内がゴール

際から我慢強く押し込ん

だ。パスカットから速攻を仕

掛けられた場面ではGK山

本のファインセーブも光っ

た。池田戦で封じたシュー

トは20本以上。「守備陣が

コースを制限してくれてい

たので、止めやすかった」

と仲間の健闘をたたえた。

「試合内容は良くなった

いる」。11点差をつけての

快勝に、中川主将は気を良

くするが、チームにとって

県大会の優勝はあくまでも

通過点。インターハイで真

の実力が問われる。

(乾栄里子)